

証券コード: 6238

FuRyu
Precious days, always

第12期 株主通信

2017年4月1日～2018年3月31日

フリー株式会社



FuRyu
Precious days, always

株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、代表取締役社長に就任いたしました三嶋 隆と申します。総合エンタテインメント企業として一層の発展を実現し、株主の皆様のご期待に添えるよう全力を尽くす所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

2018年6月
代表取締役社長 三嶋 隆

フリューの事業

▶ **ガールズトレンドビジネス**
若い女性のきれいになりたい、可愛くなりたいというニーズに応える

1. プリントシール事業
プリントシール機の企画・開発・販売、プリントシール機専門店の運営

2. コンテンツ・メディア事業
コンテンツ・メディアの企画・開発・運営、カラーコンタクトレンズの販売

FuRyu

人々のこころを豊かで幸せにする
良質なエンタテインメントを
創出する！

▶ **世界観ビジネス**
プレイズやゲームアプリなどのキャラクターを通じてその世界観を広める

3. キャラクター・マーチャндаイジング事業
クレーンゲーム景品・キャラクターくじの企画・販売

4. ゲーム事業
家庭用ゲーム・スマートフォン向けゲームの企画・開発・販売、アニメ製作

Q 2018年3月期(当期)の取り組みと連結業績についてお聞かせください。

A 当期の主な取り組みとしましては、まず、アミューズメント施設の退店地域を補うかたちで、プリントシール機専門店「girls mignon(ガールズミニオン)」を6店舗出店しました。また、カラーコンタクトレンズ販売が大きく伸び、売上高が前期比で約1.5倍となりました。さらにTVアニメ「ゆるキャン△」がヒットし、Blu-ray・DVDの販売が好調に推移しました。

しかしながら、当期の連結業績は、売上高25,383百万円(前期比2.0%増)、営業利益2,453百万円(同37.4%減)、経常利益2,474百万円(同36.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,725百万円(同38.3%減)と、前期(2017年3月期)の最高益から一転し、大幅な減益となりました。

当期は、前期に策定した「5ヶ年経営計画」の初年度でした。計画の方針として、プリントシール事業のユーザー年齢層拡大によるプレイ回数増加、コンテンツ・メディア事業のコンテンツ拡充とメディア化、カラーコンタクトレンズ販売への注力を行ってまいりました。また、キャラクター・マーチャндаイジング事業では、多数の著作権によるカテゴリーごとの積み上げでのシェア拡大、ゲーム事業では、メディアミックス展開による事業の収益化に取り組みました。しかし、大

きく投資を行ったゲーム事業の回収に苦戦し、主力事業での伸び悩みもあり、全体として当初計画との大きな乖離を生むこととなりました。今期一年間を通して戦略の見直しを図り、新中期経営計画の策定に取り組みます。

当社の強みは大きく2つあると考えています。ひとつは左記事業概要図の「ガールズトレンドビジネス」における、プリントシールを通した女性マーケティングの強さと女性会員の多さ。もうひとつは「世界観ビジネス」における著作権取得能力と商品の製造能力です。こうした当社のコア・コンピタンスを活かして今後の事業成長につなげたいと考えています。

Q 2019年3月期(今期)における取り組みと連結業績見通しについてお聞かせください。

A 「ガールズトレンドビジネス」につきましては、現在プリントシール機市場において、当社製品がシェアをほぼ独占している状態です。そのため、市場全体の魅力をさらに高めるためにさまざまな商品の企画開発に着手し、プリントシール機のバリエーションを増やします。まずは、2018年6月、新機軸のプリントシール機「PINKPINKMONSTER(ピンクピンクモンスター)」の設置を開始しました。これは、

メインターゲットを従来の女子高生だけでなく、20代女性まで拡大した商品です。併せて、アミューズメント施設が出店していない地域に、専門店を積極的に展開します。2018年4月にオープンした「moreru mignon (モレルミニョン)」舞浜イクスピアリ店は好調にスタートしており、当期の出店店舗とともに今期の売上に貢献するものと期待しています。

また、現在約160万人の有料会員がいる「ピクトリンク」は、月額500円の有料会員プラスコースの追加で顧客単価アップを図り、さらにコンテンツの拡充等やアプリ開発でユーザー年齢層の拡大および新しいユーザーとの接点の創出を狙います。そして、現在堅調なカラーコンタクトレンズ販売においては、オリジナル商品の展開とともに、ECサイト以外の販路拡大に取り組みます。

「世界観ビジネス」につきましては、クレーンゲーム向け景品で培ったノウハウを活用して、当期参入したホビーEC事業およびそのECサイト「F:NEX(フェネクス)」の展開を推進します。また、ゲーム開発への投資は一旦凍結し、すでに投資が完了しているタイトルの収益化に最大限注力します。メディアミックス展開へ向けたアニメへの投資もすでに終えており、今期はアニメ・ゲームの相乗効果で収益の最大化を図ってまいります。また、併せてゲーム事業における広告宣伝費等の見直しを行います。

これら取り組みにより今期の連結業績は、売上高25,000百万円(前期比1.5%減)、営業利益2,500百万円(同1.9%増)、経常利益2,500百万円(同1.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,740百万円(同0.9%増)を予想しています。

Q 三嶋新社長のご経歴を簡単にお教えいただけますでしょうか。

A 大学時代はモーター制御を研究し、コンピュータを使っのシミュレーションと実験を繰り返していました。立石電機株式会社(現オムロン株式会社)入社後は、まず業務用の高性能コンピュータのシステムエンジニアとして従事しました。

事業企画室への異動後は、管理部門の一員として、当社の前社長の田坂が立ち上げたエンタテインメント分野の新規事業に加わりました。このエンタテインメント事業から、オムロンエンタテインメント株式会社の設立、そしてフリー株式会社としての独立につながります。

当時から、「機械販売」、「シール紙販売」、「モバイル課金」というプリントシール事業のビジネスモデルの完成度に勝算を感じていました。そして、成功の鍵である、事業の可能性を信じるモチベーションの高いメンバーがそろっていることにも大きな魅力を感じ、そのままオムロンエンタテインメント、フリーへと入社して現在に至ります。

Q 社長就任にあたって、御社への思いや経営に対するお考えをお聞かせください。

A 当時、オムロン内には未来予測を行う研究所があり、「未来の社会に必要なとされるビジネスはなにか」を研究していました。そこで「社会は生命の安全や物欲が満たされた後、精神的な欲求を満たすものを求めるだろう」という予測がたてられ、当社の原点であるエンタテインメント事業が生まれたのです。そうした、社会が必要とする精神的な欲求を満たすものを提供するという、つまり、当社の企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」を引き続き実行していく

ことが変わらぬ私の思いです。そして、それが同時に社会への貢献であるとも考えております。

私の経営に対する基本的な考え方は、組織が指示・命令によって成り立つのではなく、社員一人ひとりの思いが集約されて会社の動きになるという「理念経営」です。社員が仕事を通じて幸せになることが重要だと思っています。仕事を通じた幸せとは、「会社の目標」「個人の目標」「個人の能力」が重なる部分を見つけるということです。そして、その重なる部分をいかに増やすかが、会社の利益の最大化でもあり、私の使命と考えています。

Q 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 社員を大切にすして各々のモチベーションを高めることは、当社の業績と企業価値を向上させます。そしてそれが、ひいては株主の皆様への利益へつながると考えています。また、株主の皆様への利益還元につきましても、重要な経営上の施策の一つとして認識しており、安定的かつ継続的に配当を行ってまいりたいと思います。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

■ 新社長プロフィール

氏名:三嶋 隆
 生年月日:1965年10月26日
 出身地:熊本県
 略歴:
 1988年4月 立石電機株式会社(現オムロン株式会社)入社
 2003年7月 オムロンエンタテインメント株式会社 経営戦略部 部長
 2004年3月 同社 経営管理部 部長
 2007年3月 当社 取締役・経営管理部 部長
 2010年6月 当社 常務取締役
 2012年5月 株式会社ウィーヴ 監査役
 2014年6月 当社 専務取締役
 2015年3月 当社 管理本部 本部長
 2016年3月 当社 ガールズトレンド事業本部 本部長
 2018年6月 当社 代表取締役社長



プリントシール機専門店『girls mignon』のご紹介 girls mignon

『girls mignon (ガールズミニョン)』とは…

『girls mignon』は、“おんなのこがかわいくなれる場所”をコンセプトとした、当社が運営するプリントシール機(以下プリ機)専門店です。安心・安全な空間で最新機種をはじめとする当社の多様なプリ機を楽しめるだけでなく、さらに広い層のお客様にプリ機の魅力を伝える場所となっています。

プリ機とはどんなもの？

プリ機とは、写真シールを作って遊ぶ機械で、主にアミューズメント施設や商業施設に設置されています。特に10~20代前半の女性に人気がある定番の遊びとなっています。現在、当社のすべての機種に、高性能カメラや画像処理機能などの先端技術が搭載され、好みの顔立ちや肌・髪の質感に自動修正する機能を備えています。



◀ 楽しみ方 ▶

1 ブースに入って撮影

撮影コースを選択し、音楽が流れる撮影ブース内で音声指示に合わせて撮影します。このとき、自動で画像処理が行われ、顔立ちやスタイルが補正されます。



2 画像をデコレーション

落書きブースでは、撮った画像に手書き文字やスタンプといったさまざまなデコレーションを加えることができます。



3 できあがり

デコレーションした画像が、シール紙に出力されます。思い出の日の記念にしたり、シールを集めたりして楽しめます。また、画像はスマートフォンにダウンロードも可能。SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)で公開することもできます。



特徴

1

安心・安全でおしゃれな店内

プリ機の企画・開発で培ったマーケティング力やデザイン力を活かし、女の子が喜ぶ店舗づくりを行っています。おしゃれな店内には、スタッフが駐在。そして、常に美しく清潔に保つことで、メインターゲットの女子高生・大学生はもちろん、小中学生や親子づれでも安心してプリ機での撮影を楽しむことができます。ソファースペースは待ち合わせ場所としても利用することができます。



特徴

2

プリ機を最大限楽しむ工夫

店内にはメイクアップカウンターを設置し、ヘアアイロンの無料貸し出しを行っています。ほかにも、機種ごとの特徴をまとめた撮影アドバイスボードの掲示、撮影用小物の貸し出しなど、より撮影を楽しむためのサービスを用意しています。



特徴

3

イベントも開催

女子高生や大学生などに人気の著名人を招いたイベントや季節の催し、プリントシールの新しい活用方法の提案などで、プリントシールの魅力をより多くのお客様に伝えています。その他、スイーツやコスメの試供品プレゼントといった、思わず立ち寄りたくなるキャンペーンも行っています。



新スタイル店舗『moreru mignon』

『moreru mignon (モレルミニョン)』は、「“せかいいち、かわいい”プリのお店」をコンセプトとした新しいスタイルの店舗です。各店舗でさまざまな世界観の店舗装飾を施し、“SNS映え”するフォトジェニックな店内でプリ撮影や記念撮影を楽しめる空間を提供します。

◆舞浜イクスピアリ店

▽プリ機専門店としては国内最大級の広さ*

テーマ：「PINK GENICなプリTOWN」



▽話題の女性クリエイター 3組とコラボレーションした店内



2018年
4月25日
オープン



*2018年2月現在 フリュー調べ

『girls mignon』の全国展開

※⇒[petit mignon (プチミニョン)] :
『girls mignon』のコンセプトそのままに、プリ機の設置のみのコンパクトな店舗。
★⇒[moreru mignon]

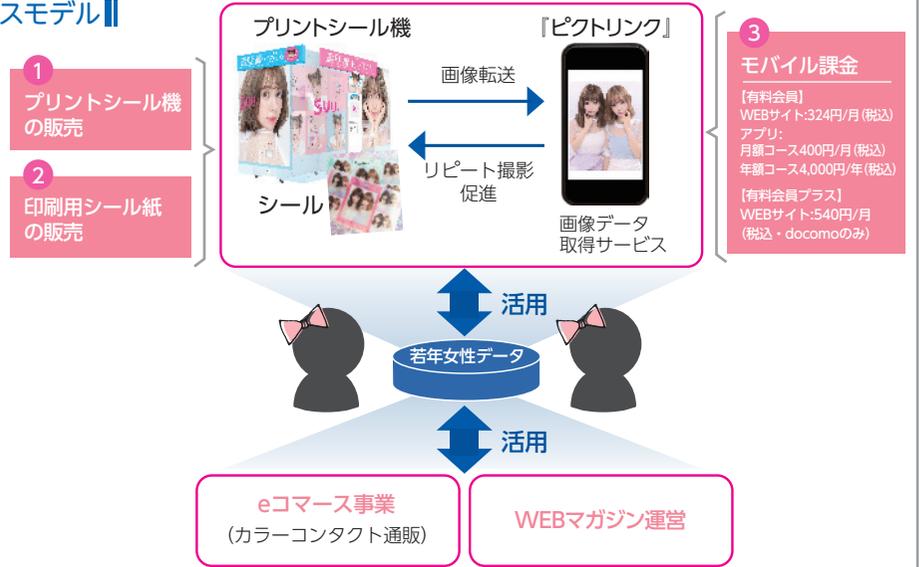


Ⅲ プリントシール事業のビジネスモデル

プリントシール事業の商流は、プリントシール機の販売と印刷用シール紙の販売が基本です。さらに当社では、プリントシール機で撮影した画像をモバイル端末から入手できるサービス『ピクトリンク』を運営し、有料会員からのモバイル課金も売上*となります。

『ピクトリンク』はプリ機からの安定的な集客を強みとし、その若年女性に特化したデータベースをeコマース事業やWEBマガジン運営にも活用しています。

※モバイル課金はコンテンツ・メディア事業区分の売上となります。



TOPICS

1 最新プリントシール機『PINKPINKMONSTER』

2018年6月より、当社の企画・開発力を活かした最新プリントシール機『PINKPINKMONSTER(ピンクピンクモンスター)』の設置が開始されました。当機の特徴は、「2人での撮影」にこだわった新感覚の写りや機能、斬新な外装デザインなどです。仕上がりにおいて、2人撮影に特化した空間設計や贅沢な光の演出で新しいプリ機の楽しさを提案します。



▲インパクトがある、全色ピンク色の外装デザイン。プリ機を背景に、「映える」写真を撮影できます。

TOPICS

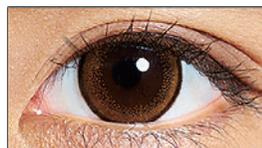
2 新世代カラコン『em TULLE』を発売

2018年2月、オリジナルカラーコンタクトの新ブランド『en TULLE(エンチュール)』を発売いたしました。『LuMia(ルミア)』、『Re coco(リココ)』に続く3つ目の自社ブランドです。最大の特徴は、「フチ」と「ぼかしフチ」を組み合わせた独自デザイン“NEOフチ”。瞳の輪郭をくっきりさせつつ、



▲イメージモデルには、AKB48の加藤玲奈さんを起用

本来の瞳と自然になじむ配色とデザインで、より幅広い層を獲得します。



▲細フチでも白目が透けにくく、ビー玉のような“ちゅるん”とした仕上がり

TOPICS

3 大人気TVアニメ「ゆるキャン△」Blu-ray・DVD全3巻、続々リリース中

当社が製作委員会の幹事を務めたTVアニメ「ゆるキャン△」のBlu-ray・DVD(全3巻)の第1・2巻が発売中、第3巻が2018年7月25日(水)に発売予定です。

「ゆるキャン△」は、山梨県を舞台に女子高生たちのキャンプや日常生活の様子をゆるやかに描く人気漫画のアニメ化作品で、放送終了後も多くの反響を呼んでいます。

当社では、他にも、同作品のLINEクリエイターズスタンプやアミューズメント専用景品等の商品展開を行っています。



▲Blu-ray・DVD第1巻

© あろろ・芳文社/野外活動サークル



▲アミューズメント専用景品

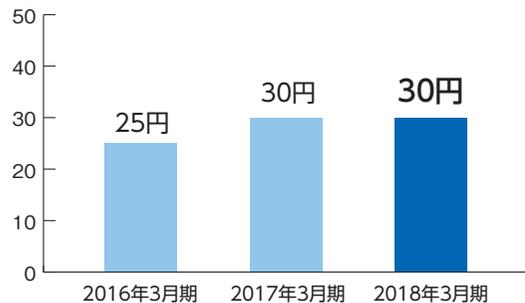
株主還元について

■ 配当実績

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営上の施策の一つとして認識しており、業績の動向や将来の成長投資に必要となる内部留保の充実や財務基盤の確立を総合的に勘案し、安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。

この基本方針に従い、当期の配当につきましては、1株当たり30円とさせていただきます。配当性向は、49.2%です。

■ 年間配当額の推移



※当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき、3株の株式分割を行いました。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の推移を掲載しております。

■ 株主優待制度

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力を高め、多くの株主様に中長期にわたって当社株式を保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入しております。

今後ともさらなる成長を目指して邁進してまいります。

株主優待対象者

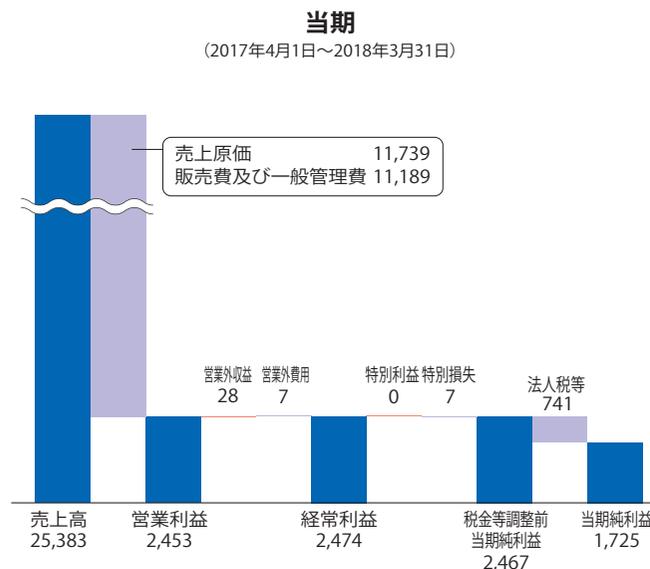
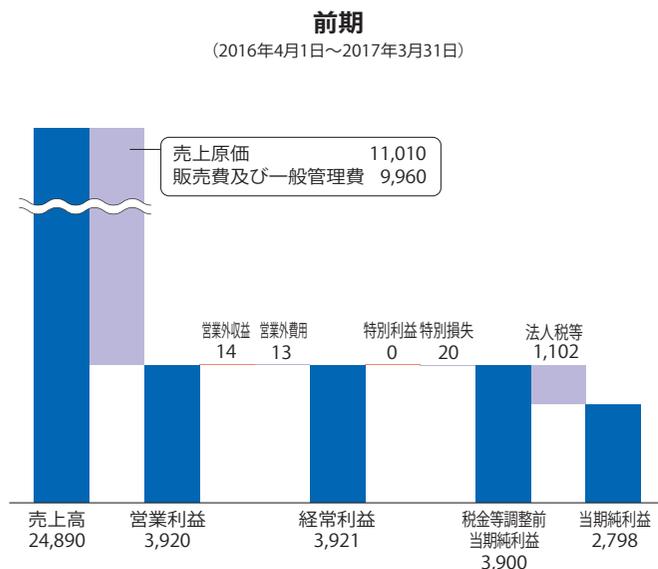
3月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様。

株主優待内容

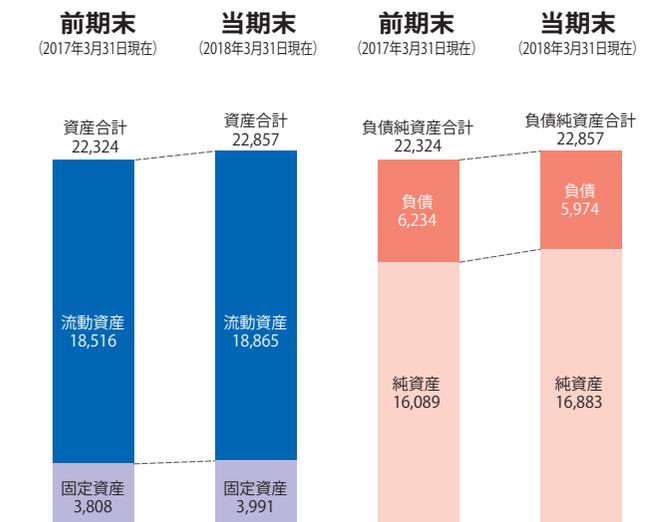
保有株式数	内容
100株以上	クオカード 2,000円

連結財務諸表(要旨)

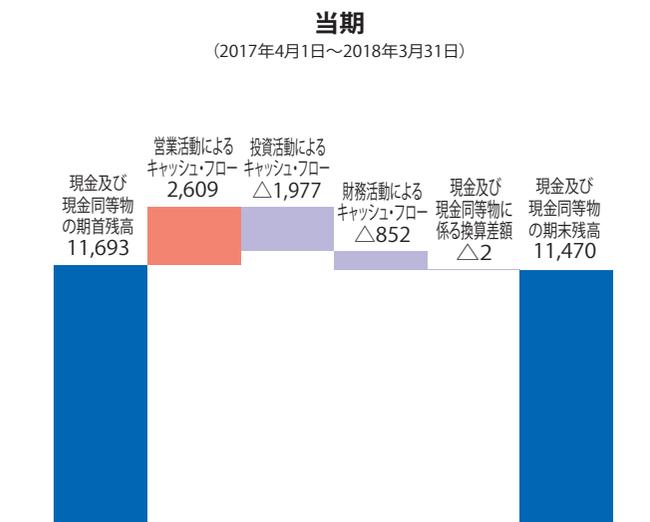
▶ 損益計算書の概要 (単位:百万円)



▶ 貸借対照表の概要 (単位:百万円)

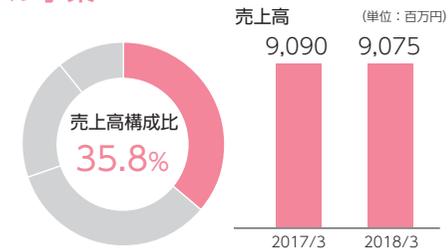


▶ キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



プリントシール事業

3つの新機種を発売し、販促活動や専門店「girls mignon」の新規出店等も積極的に展開しました。その結果、売上高はほぼ横ばいとなりました。



コンテンツ・メディア事業

『ピクトリンク』の入会・継続利用促進施策に取り組みました。また、WEBマガジンやメール広告「プリアドメール」、カラーコンタクトレンズの販売等が堅調に推移しました。



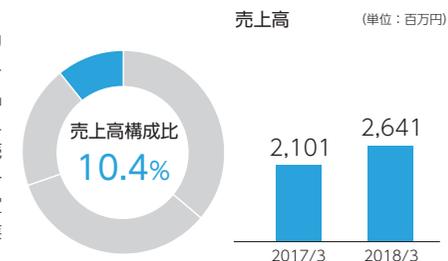
キャラクタ・マーチャンダイジング事業

多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行いました。前期主力商品に匹敵する売上の獲得に至らず、前期の売上を下回りました。



ゲーム事業

家庭用ゲームのオリジナル作品やスマートフォンゲーム2作品のリリース、人気アニメの映像ソフト発売等で売上が伸びた一方、開発費や広告宣伝費等が増加し営業損失は拡大しました。



会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	フリー株式会社
本社所在地	〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町2-3 COMSビル2F
設立	2007年4月1日
資本金	16億3,921万円
従業員	421名(連結)

役員の状況 (2018年6月26日現在)

取締役	取締役会長	田坂吉朗
	代表取締役社長	三嶋隆
	専務取締役	吉田真人
	取締役	稲毛勝行
	取締役	笹沼理成
	社外取締役	行廣昌彦
社外取締役	小竹貴子	
監査役	常勤監査役	中村隆行
	社外監査役	渡邊肇
	社外監査役	山崎想夫

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	104,400,000株
発行済株式の総数	28,296,000株
株主数	24,158名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田坂吉朗	5,130,000	18.13
吉田真人	1,620,000	5.73
新本祐一	1,620,000	5.73
三嶋隆	1,620,000	5.73
フリー社員持株会	1,359,800	4.81
稲毛勝行	1,080,000	3.82
中村真司	1,080,000	3.82
鬼頭金正	1,080,000	3.82
溝上耕史	1,080,000	3.82
芝山貴史	807,000	2.85

※持株比率は自己株式(192株)を控除して計算しております。

会社沿革

1997年	オムロン株式会社にて エンタテインメント分野の新規事業として開始
1998年	プリントシール機事業に参入
2001年	モバイルコンテンツ事業に参入
2002年	プライズ(景品)事業に参入
2003年	オムロンエンタテインメント株式会社設立
2007年	マネジメント・バイアウトにより、 フリー株式会社として独立
2009年	ゲーム事業に参入
2012年	株式会社ウィーヴ全株式取得
2014年	株式会社コアエッジへ資本参加
2015年	東証一部上場

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
連絡先・郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
証券コード	6238

WEBサイトのご案内

当社のコーポレートサイトでは、セグメント別の事業内容をはじめ最新のIR情報など、さまざまな情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

主な掲載コンテンツ

- 会社情報
- ニュースリリース
- 事業紹介
- IR情報
- 採用情報

<http://www.furyu.jp>



フリー 検索

QRコードはこちら



フリー株式会社